



2017年12月

ミラノサローネ 2018: ワーク・イン・プログレス!

デザインと家具の祭典、第57回 サローネ・デル・モービレ・ミラノ (以下、ミラノサローネ) 開催まで、あと4ヶ月を切りました。

2018年4月17日から22日までの開催へ向けて、今年も更なるイノベーションやサプライズが着々と準備されています。

「デザインは感動を引き起こす。その感動はミラノから生まれる。デザインと感動を結びつけるのが、その受け皿となるミラノサローネであり、毎年新しいクリエイティビティを招き入れる。このイベントは、イタリア国内外のインテリア・デザインを代表するショーケースに留まらず、家具産業界の著しい成長にもスポットライトを当てている。ミラノサローネの強みは、クリエイティビティのお披露目の場として一番相応しく、また、ビジネスチャンスとしても最も魅力的であることだ。文化、デザイン、革新が共存する世界の中心的存在としてのミラノの役割を、我々は更に強化すべく努めている。」と、ミラノサローネのプレジデント、クラウディオ・ルーティ氏は述べました。

2,000を超える出展社が、デザイン、技術、柔軟性、持続可能性を組み合わせ、未来を見据えたデザインを、現代の生活へ適応させます。業界のトップ企業が、研究開発投資に力を注ぎ、品質とクリエイティビティのマリアージュに成功した製品を一堂に会します。

FLA Eventi社の社長、エマヌエーレ・オルジーニ氏は「モスクワ、上海の成功に続きミラノサローネは、家具とデザインにおける国際舞台の中心的存在として揺るぎない地位を確立しようとしている。トップ企業を魅了し、芸術的、文化的な併催イベントをオーガナイズし、イタリア貿易振興会ICEの協力を得て、世界に類を見ない必須イベントとするべく、国際レベルのミッションに注力している。」とコメントしました。

サローネ国際家具見本市は、サローネ国際インテリア小物見本市と共に、今年も「クラシック：未来の伝統」「デザイン」「xLux」の3カテゴリーに分かれて展示されます。

隔年開催見本市は、エウロクチャーナと、併催される**FTK (テクノロジー・フォー・ザ・キッチン)**、サローネ国際バスルーム見本市が同時開催されます。エウロクチャーナとFTKのコンセプトは、トレンドを定めインスピレーションを呼び起こすこと。キッチンの明日は多目的でプロフェッショナル、胸が高鳴る感動の場となること。



キッチンを家の中心的存在とさせるインテリアやビルドイン家電は、コンテンポラリーなデザインや技術革新、次世代を見据えた性能、エネルギー効率、使い易さなどの特徴を持ち合わせています。形、色、素材は、昼夜通して屋内のあらゆる環境と共存します。2018年は、初めてサステナビリティにも革新的に挑みます。現代のバスルームの最先端製品は、水効率、屋内の汚染防止、個人の健康に重点をおき、効率と省エネルギーに対する需要に応えます。人間工学、色、アクセサリーが感情を刺激し、癒しに満ちた空間を創り上げます。

35歳以下の若手デザイナーの展示、第21回サローネサテリテは、「アフリカ・ラテンアメリカ：エマージング・デザイン」と題し、世界中から集まる若手デザイナーが、デザインの原点を見直した新しい技術と職人技を披露します。今回のサローネサテリテは、南半球にスポットライトを当て、アフリカとラテンアメリカの創造性とデザインが融合したインスピレーションを展示。ラテンアメリカの展示は大陸の人々の社会復帰支援活動に携わるフンベルトとフェルナンド・カンパーナ兄弟がキュレーションを手掛け、アフリカの展示はフランス系モロッコ人デザイナーでアフリカの新世代クリエイターの発掘を推進するアワード、「アフリカ・デザイン・アワード&デイズ」の創設者、イシャム・ラルーが手掛けます。この企画は、現代の社会や環境のニーズに対応しつつ、未来のための情報に富んだ生活のヒントを与えるために、ヴァナキュラー・デザインと、現代に適応しうるアイデアを披露します。

第9回を迎えるサローネサテリテ・アワードは、需要と供給、企業とデザイナー、クリエイティビティと製造、といった、それぞれの相互関係を探ります。

第57回ミラノサローネも、ビジネスだけに留まらず、ミラノ市内でイベントの開催を予定しています。感動、夢、より良い日常生活、美しい世界への熱い想いに応えるべく、五感を刺激する臨場感と驚きが来場者を迎えます。

「美は世界救う」

2018年も多数のご来場をお待ちしております。

Salone del Mobile.Milano
Japan Press PR
山本幸
yuki@milanosalone.com